



MEDICINE

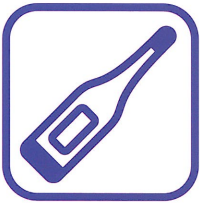


INJECTOR

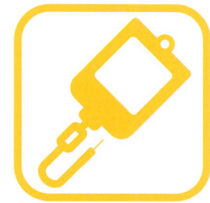
実践看護英語

— 専門用語の習得と英会話能力の養成 —

[Essential English for Nursing]



THERMOMETER



IV DRIP

香里ヶ丘看護専門学校 監修

竹林 修一

濱田真由美 共著

Frank Tucker

実践看護英語

—専門用語の習得と英会話能力の養成—

Essential English for Nursing

香里ヶ丘看護専門学校

監 修

竹林修一

濱田真由美

Frank Tucker

編 著

英 宝 社

まえがき

本書の目的は、看護師として職務上必要な英語の基本スキルを身につけることです。実際の職務で必要な英語のスキルは主に2つあります、1つは、日本語を解しない患者とコミュニケーションをとることです。看護師は患者のことを知らなければなりません。症状、体調、治療に対する疑問、希望や不満、これらのことを理解できるだけの語彙・表現を覚えれば仕事も楽しくなるでしょう。逆に、薬の飲み方を説明したり、治療上必要な注意事項を与える必要も出てきます。また病院内で場所を聞かれることもあるでしょう。2つ目は、医師の書くカルテの内容を理解することです。医師は英語でカルテを書くことが一般的です。したがって、症状、病名、治療法などに関する単語の意味がわかるのとわからないのとでは、仕事に差が生じます。

本書の構成

本書は次のような構成をとっています。

- ・ 全15ユニットで構成、1ユニットは6ページです。
- ・ 各ユニットは、Vocabulary, Conversation, Language Practice, Pronunciation, Let's Talkの5つのセクションから成り立っています。

Vocabulary では、専門的な単語を学びます。身体の部位、症状、病名、治療方法、検査機器など多岐にわたりますが、問題を解くことを通じて、暗記できるようになっています。さらに、専門用語（ほとんどは名詞）だけでなく、基本動詞や形容詞なども問題に含めました。これは他の看護英語テキストにはない本書の特徴です。

Conversation では、さまざまな場面における患者と看護師の会話を学びます。会話と言っても、特別難しいことを話すわけではありません。職務上使う表現はだいたい決まっていますから、それらを覚えてしまえばよいのです。このセクションも問題形式になっています。解くことを通じて重要表現が記憶に定着するように編集しました。

Language Practice では、先の2つのセクションで使われた重要な文法事項を整理します。やはり問題を解くことで、文法知識を確実にします。

Pronunciation では、理解してもらえる英語の発音を身につけるという観点で学習項

目を選びました。ネイティブのような発音を目指すというよりは、英語という言葉のもつ特徴を掴んだ発音を身につけるのが目的です。そのため、通常の英語テキストでは扱わないような項目も含まれていますが、日本人学習者が意外と気づかない発音上のポイントを多く取り入れました。ちょっとした心がけで英語の発音がかなり自然になるという効果を感じてもらえれば幸いです。

最後の **Let's Talk** は総合練習です。先に学んだ4つのセクションを応用して、患者役と看護師役に分かれて会話に挑戦します。学校の授業でこのテキストを使う場合は、教員の判断によって、会話の代わりに看護師と患者の会話のスクリプトを書くという活動にも使えます。

さまざまな使い方が可能

本書は、学校のカリキュラム、授業時間数、あるいは学生の実態に応じて、柔軟に使用できるように編集しています。たとえば、単語力と文法の基礎固めをするなら、**Vocabulary** と **Language Practice** を中心に扱い、会話能力向上に焦点を当てるなら、**Conversation**、**Pronunciation**、**Let's Talk** を中心に扱うという使い方が可能です。

コミュニケーションの重視

コミュニケーションとは、職務上必要となる患者との適切な言葉のやりとりを意味します。ここでは、「適切な」という部分が大切です。自分の言いたいことさえ伝えればいいんだという態度では、英語に限らず言語能力は上達しませんし、看護師としての成長も妨げます。言葉とは人間関係を構築するためのツールですから、相手の気持ちを常に考えた言葉の使い方が求められます。特に、看護師が接する患者は自分の身体に不安を抱えているわけですから、通常のコミュニケーションよりも細心の注意が求められます。しかし、決して難しいことではありません。そのための具体的な方法は本書で繰り返し出てきますから、練習をして使えるようになってもらいたいと思います。

反復練習・思考プロセスの重視

語学は繰り返しによって知識を定着させる科目です。ですから、本書では同じ単語や表現が繰り返し出てきます。問題を丹念に解いていくことで、専門語や定型表現が自然と覚えられることでしょう。それから、本書の問題を解くには思考力が求められます。これは決して問題の難易度が高いということではなく（むしろ基本事項にしぼりました）、解

答に至るまでの過程で、辞書を使ったり、文法的な知識を総動員したり、使われているセンテンスの内容や会話の状況を把握しながら解く必要があるということです。専門語一つ覚えるにしても、その単語に対応する日本語の訳語を書かせるような問題形式では、なかなか覚えられないばかりか、覚えたとしてもすぐに忘れてしまうでしょう。「急がば回れ」と言うように、安易な方法をとらず、考えることを通じて英語力を身につけるのが本書のねらいです。

監修・校閲について

本書の監修を、筆者が教えている香里ヶ丘看護専門学校副校長の濱田眞由美氏に引き受けていただきました。本書は、看護の現場ですぐに役立つ看護英語テキストを目指しましたから、看護の現場を熟知している濱田氏の協力を得られたことは、このテキストの実用価値を保証するものです。

さらに、アメリカ出身の Frank Tucker 氏に英語の校閲をしていただきました。彼は英語教授法分野の修士号を持ち、関西外国語大学などで英語を教えた経験を持ちます。したがって、第2外国語として英語を学んだ筆者とは違う視点で、日本人の英語学習の問題点を見ることができます。校閲に関しても、英語の正確さや自然さだけでなく、日本人学習者が共通して抱える問題点にまで気を配っていただき、有益なフィードバックを本書に反映することができました。

以上、本書の執筆方針と特徴を述べましたが、1人でも多くの学習者が本書で学んだことを生かし、看護師として活躍することを祈念してやみません。

最後になりましたが、本書の出版に多大なるご尽力いただいた英宝社の宇治正夫氏に、心から感謝をいたします。

2013年9月

竹 林 修 一

CONTENTS

Unit 1	Getting to know the patients 1
Unit 2	Getting to know the patients 1
Unit 3	Getting to know the patients 1
Unit 4	Getting to know the patients 1
Unit 5	Examination
Unit 6	Examination
Unit 7	Instruction Medication
Unit 8	Treating the patients
Unit 9	Taking care of the patients
Unit 10	Treating the patients 2
Unit 11	Operation
Unit 12	Pregnancy
Unit 13	In the hospital
Unit 14	Emergency
Unit 15	Living a Healthy Life

Unit 3

Getting to know the patients 3

Vocabulary 皮膚の症状
Conversation 皮膚の症状を知る
Language Practice お願いする (Can you...?)
Pronunciation an + (形容詞+) 名詞 (an itchy rash)

Vocabulary

I 空欄に当てはまる語句を選んで、センテンスを完成させましょう。

- 1 Are you [] any food or drugs?
- 2 When you have skin problems, you go to see [].
- 3 [] can be cured, but you need to be very patient because it usually takes you several months.

allergic to

a dermatologist

athlete's foot

athlete's foot

athlete は運動選手のことです。運動選手にこの病気が多いことから、英語では「運動選手の足」という言い方をします。

allergic

日本語の「アレルギー」です。発音がかなり違うので注意。allergy は名詞形です。名詞、形容詞とも、後に前置詞の to が続きます。

dermatologist

+ologist は職業を示します。専門医を表す単語には +ologist で終わるものがたくさんあります。

専門医の単語 (-ologist で終わるもの)

cardiologist	()	radiologist	()
dermatologist	()	ophthalmologist	()
gynecologist	()	urologist	()
neurologist	()		

II 空欄に当てはまる語句を選んで、センテンスを完成させましょう。

- 1 [] is a thick, yellowish liquid in [] part of the body.
- 2 [] is a small hard swollen area in the body.
- 3 I have [] [] on my arms.
- 4 I have serious []. It does not stop!

pus	an itchy	rash	an infected	bleeding	lump
-----	----------	------	-------------	----------	------

infected

infection (感染) の形容詞形。The wound became infected. のようにも使えます。

bleeding

bleed は動詞で「出血する」です。ing をつけると、「出血」という名詞になります。swell / swelling も同じで、swell が動詞で、swelling が名詞です。

III 空欄に当てはまる語句を選んで、センテンスを完成させましょう。

- 1 [] is very []. You feel you want to rub it with your nails.
- 2 Many studies have shown that aspirin can reduce pain and [].
- 3 [] are skin problems. It is usually caused by [] specific foods.
- 4 I had a lot of [] on my arm after I played outside.

eczema	itchy	inflammation
an allergic reaction to	hives	insect bites

hive

通常は複数形の hives で使います。この hive という単語には、ハチの巣箱という意味もあります。

aspirin can ...

この can は、「一般的な可能性」を言うときに使います。アスピリンの一般的効能として、痛みや炎症を抑える効果があるということを言っています。

studies

「研究、調査、実験」の意味です。

inflammation

動詞に inflame という語があり、「人を激怒させる」の意味です。これが名詞形になると、「炎症」の意味となります。

Conversation

I 初診患者に問診票を記入してもらいます。空欄に当てはまる語句を選んで、会話を完成させましょう。

N: Hi. []. My name is Suzuki.

P: Hi. My name is Sung Hee.

N: Is this the first time to visit us?

P: Yes.

N: First of all, can you [] this form?

P: Sure.

N: If you have any questions, [] ask me. Sung... Sorry. [] say your name again, please?

P: []. My name is Sung Hee.

N: Thank you, Sung Hee. []

P: Well, I have an itchy rash on my arms.

N: []. [] in the waiting room. We will call you later.

P: I see. Thank you.

N: [].

fill out	can you	feel free to	What happened to you?	Take a seat
You're welcome	That's too bad	Nice to meet you	That's fine	

Nice to meet you. My name is ...

初対面の時の決まり文句です。病院だけでなく、どんな場面でも使えます。日本の病院では、医師も看護師も自分の名前を言うことはあまりありませんが、英語圏で病院に行くと、医師や看護師は必ず自分の名前を言います。レストランへ行っても、ウェ이터やウェイトレスは自分の名前を言ってから注文を取ります。外国人の患者と英語で話をするときは、英語文化のルールにしたがって、自分の名前を言いましょう。

Can you say your name again, please?

外国人の名前は一度聞いただけでは覚えられないことが多いです。そういうときは、この表現を使って、聞き返します。もう一度聞いてもまだ覚えられない場合は、Can you spell your name, please? と聞いて、スペルを言ってもらいと良いでしょう。

Can you fill out this form?

問診票などの書類を記入してもらうときに使います。Can you...? はお願いするときの定番表現です。Please fill out this form. でも悪くはありませんが、「Please + 動詞」は、時によっては失礼に響くかも知れません。安全策で、Can you...? を使う方が良いでしょう。Can you...? をさらに丁寧にした言い方に Could you...? があります。can の過去形の could を使っていますが、過去形を使うことでより改まったニュアンスが出ます。

If you have any questions, feel free to ask me.

「分からないことがありましたら、どうぞおたずねください」の意味。

What happened to you?

どこが悪いのかを聞くときの言い方です。もう少し、ていねいな表現として、What seems to be the problem? と言うこともあります。

かならず言葉にする

英語では、相手の言ったことに対しては必ず言葉で返します。日本人がよくやる首を振る動作や唇を動かす動作は、言葉の代わりにはなりません。ここでは、I have an itchy rash. に対して、That's too bad. と返しています。それから、Thank you に対しては、You're welcome と返しています。患者のほうも、名前をもう一度聞かれたときに、That's fine と言って、気にしなくてもいいですよと看護師に対して気遣いを表しています。こういった表現は、特に重要な意味を含むフレーズではないので、意思疎通のレベルでは、言わなくても仕事には影響ありませんが、ホスピタリティを患者に感じてもらうためには必要なフレーズです。相手の言ったことには、うなずきや目線だけでなく、必ず言葉で反応することが大切です。

II 簡単な問診をしています。空欄に当てはまる語句を選んで、会話を完成させましょう。

N: Before you see the doctor, [] a couple of questions?

P: Sure.

N: What happened to you?

P: [] in my chest.

N: When did it come out?

P: I don't know exactly, but maybe a week ago.

N: Do you []?

P: Yes I do. I kind of [].

N: Then, [] any food or drugs?

P: No, I don't think so.

can I ask you are you allergic to I have rash feel itchy can't stand it

III 蕁麻疹の患者です。空欄に当てはまる語句を選んで、会話を完成させましょう。

N: What [], sir?

P: I broke out in [] on my back.

N: Are you [] any particular food?

P: I [] wheat. But I didn't eat any wheat products yesterday.

hives allergic to have an allergy to happened to you

Language Practice

I < >の中の語句のうち、正しい方を選びましょう。(I = 看護師、you = 患者)

- 1 <Can I ask you/Can you ask me> some questions?
- 2 <Can you/Can I> say your name again?
- 3 <Could I/Could you> fill out this form?
- 4 <Are you able to/Can you> tell me more about your accident?
- 5 <Can you take a seat?/Take a seat>
- 6 <Please say your name/Can I have your name?>
- 7 <Fill out this form/Could you fill out this form?>

be able to と can

2つは似ていますが、依頼するときは Are you able to...? とは言うことができません。この言い方だと、「……する能力を有しているか」という意味になってしまい、お願いの意味ではなくなってしまいます。

Can (Could) you...? と、(Please) + 動詞の使い分け

自分のために相手に手数をかけるときは Can(Could) you...? を使い、相手のためになることを言うときは「(Please) + 動詞」を使います。席にかけてお待ちくださいと言うことは、看護師や病院のためではなく、患者が楽な状態で待つことですから患者のためです。一方、問診票に記入してもらうことは、病院側の診療の都合によるものです。

Pronunciation

I 次のセンテンスや語句を練習しましょう。

Do you have *an allergy* to any food?

I have *an itchy rash* on my arms.

I am going to put *an ice pack* on your knee.

an agonizing pain

an infected part of the body.

an ear infection

I have *an allergy* to wheat.

an-allergy という1つの単語のつもりで発音します。

II **ペア練習** **Conversation** の会話を一人が読んで、もう一人が聞き取って、書きましょう。終わったら、役割を代わります。

Let's Talk

I 看護師役と初診患者役に分かれて、初診時の応対を練習しましょう。会話の流れを下に示すので、この流れに沿って会話をしましょう。患者の症状について、症状1から4に示された語を使って言ってみましょう。

会話の流れ

看護師：挨拶、自分の名前を言う。

患 者：挨拶、自分の名前を言う。

看護師：どうしたのかを聞く。

患 者：症状を言う。

看護師：初診患者用の書類を記入するようお願いする。

患 者：Sure.

看護師：質問があれば、遠慮なく言うように伝える。

患 者：Thank you.

看護師：名前を呼ばれるまで、席に座って待つように言う。

患 者：Sure.

症状1： a headache

症状2： nausea

症状3： a stomachache

症状4： a sore throat

Unit 7

Instructing Medication

Vocabulary 処方薬
Conversation 服用法を説明する
Language Practice 指示・説明
Pronunciation Here's, There's

Vocabulary

I 空欄に当てはまる語句を選んで、センテンスを完成させましょう。

- 1 This is [] for your rash. Apply this on your skin [].
- 2 Here is your [] eye drops.
- 3 For severe [], doctors may prescribe [].
- 4 [] a pharmacy to get your prescription drugs.

an ointment
drop by

suppositories
constipation

prescription for
twice a day

prescription

医師の書く処方箋のことです。医師の処方箋が必要な薬を **prescription drugs** (または **prescription medication**) と言います。逆に、処方箋なしで買える薬を **over-the-counter drugs** と言います。**over-the-counter** を短縮して **OTC** と言うこともあります。一般のドラッグストアで買える風邪薬などは **OTC drug** です。

drop by

「立ち寄る」の意味です。長居する必要がなく、数分で用事が済むような場所に行くときに使います。

Here is ...

患者に書類や薬などを渡すときに言います。たとえば、病院の電話番号が書かれた紙を患者に渡すときは、**Here is our phone number.** と言います。

doctors may...

この **may** は、特定の状況（便秘のひどい患者）における可能性を表します。この **may** を省いて、**doctors prescribe suppositories** だと、医師は例外なく、重い便秘の患者に座薬を処方するという意味になってしまいます。処方するかしないかは、あくまで個々の患者の症状によりますから、この **may** は必要です。

prescribe

prescription の動詞形です。

II 空欄に当てはまる語句を選んで、センテンスを完成させましょう。

- 1 [] the wound area is clean before you apply the [].
- 2 [] this eye drops five time a day. Make sure to [] the eye drops in the refrigerator.
- 3 [] two tablets after eating.
- 4 [] this [] on your skin after bath.

make sure bandage cream apply take keep use

bandage

上の問題では名詞として使いましたが、動詞としても、I bandaged an incision of my patient. のように使えます。

take

「薬を飲む」と言うときは drink ではなく、take を使います。液体の飲み薬でも take を使います。

make sure

通常はセンテンスの冒頭におきます。「かならず…してください」の意味です。大事なことを患者に伝えるときに使います。Make sure と言った後には、主語+動詞か、to+ 動詞を続けます。

III 空欄に当てはまる語句を選んで、センテンスを完成させましょう。

- 1 This is your []. Take it when your stomach is empty.
- 2 The doctor prescribed [] for you. Take one tablet after every meal.
- 3 Take this [] when you feel pain in your throat.
- 4 Here is the prescription for your inhaler and nasal spray. Read the [] before you use them.
- 5 This is your prescription. You can choose a brand or [].

antibiotics painkillers cough syrup instructions generic

painkiller

pain+kill+er。痛みを殺すということで鎮痛剤です。pain reliever と言うこともあります。

薬の種類と動詞の組み合わせ

take + tablet, capsule, cough syrup
apply + ointment, cream, bandage

use + eye drops, nasal spray, inhaler

Conversation

I 空欄に当てはまる語句を選んで、会話を完成させましょう。

N: Your doctor has given you a prescription for antibiotics. [].
Six times a day.

P: Sure.

N: When you [] at a pharmacy, you will [].

P: All right. Is there a pharmacy near here?

N: Yes. There is a pharmacy called “Iki-iki Pharmacy” across from the hospital.

P: Thank you.

N: You're welcome. Take care.

get written instructions	take them when your stomach is empty
get your drugs	

a pharmacy called “Iki-Iki Pharmacy”

「Iki-Iki Pharmacy という薬局」の意味。

instructions

口頭で行う説明と、文書で行う説明の両方に使います。この会話では、薬局で抗生物質と一緒に使用法を書いた紙をもらえる、ということを説明しています。

II 看護師が目薬の処方箋について説明しています。1から3の語を並べ替えましょう。

N: [1: is / here / for / your / eye / prescription / drops]. [2: choose / or / can / brand / a / generic /you].

P: Thank you.

N: [3: can / any / by / you / pharmacy / drop].

P: Great.

1. _____

2. _____

3. _____

III 看護師が軟膏の使い方を説明しています。1から2の語を並べ替えましょう。

N: This is an ointment for your rash. [1: this / on / apply / skin / your].

P: I see. How many times?

N: [2: a / once / twice / or /day]. Dry the skin off before you put on cloth.

1. _____

2. _____

Language Practice

I < >の中の単語のうち、正しい方を選びましょう。

- 1 This is the ointment for your rash. <Use/Apply> it to your skin after shower.
- 2 <Drink/Take> these painkillers when you have a pain. One <tablet/tablets> at one time.
- 3 Here are your eye drops. <Use/Apply> them five times a day. <Take/Make> sure to <take/keep> them in the refrigerator.
- 4 This is the syrup for your throat. Shake well before you <take/use> it.
- 5 Before you <use/apply> this ointment, <take/make> sure the skin is clean.

薬の飲み方を説明する

言い方としては主に2つあります。1つは動詞の現在形で始める、いわゆる命令形を使う方法です。Apply, Take, Shake, Keepなどで始めます。もう一つは、やはり命令形なのですが、Make sureで始める言い方です。「必ず…してください」のようなニュアンスです。Make sure the skin is cleanは、必ず皮膚がきれいな状態にしてから塗ってください、ということです。

薬を飲む間隔を説明する

five times a day「1日5回」と言ったり、every six hours「6時間おき」のように言います。

薬を飲むタイミングを説明する

飲み薬の場合は、食後(after meal)か食間(between meals)が多いです。軟膏でしたら、お風呂の後(after shower, after bath)と言います。

II < > の中の語句のうち、正しい方を選びましょう。

- 1 <Don't / Not> rush. <Take / Taking> your time when you eat.
- 2 <Try not to / Try to not> eat too much fat.
- 3 <Make sure of taking these tablets / Make sure to take these tablets> before bed.
- 4 <Change / Changing> the dressing every day.
- 5 <Keep/To keep> the bandage on your knee until the wound heals.

make sure

Make sure で始めたときに、後をどう続けるかは二通りあります。主語+動詞を続けるか、to+ 動詞を続けるかです。

until

until the wound heals は、「傷が癒えるまで」の意です。

III 次の各センテンスには誤りが含まれているので、訂正しましょう。

- 1 I have a terrible stomachache after I ate.

- 2 Take these antibiotics when your stomach was empty.

- 3 If you had any questions, feel free to ask me.

- 4 Read carefully the instructions before you will be using the inhaler.

- 5 Keep the bandage on your knee until the wound will heal.

接続詞 (before, after, if, when, until) + 主語+動詞

薬の飲み方などを説明するとき、if, when, before, after を使うことがあります。そのときは、これらの接続詞の後に主語+動詞と続けますが、動詞を原型で使うというルールがあります。

(**注意** この動詞の原形を使うというのは、薬の飲み方などを説明するときには当てはまるルールで、どんな状況でも当てはまるルールではありません。たとえば、My father was killed in a car accident when I was a child. のように、was という過去形を使う場合もあります。)